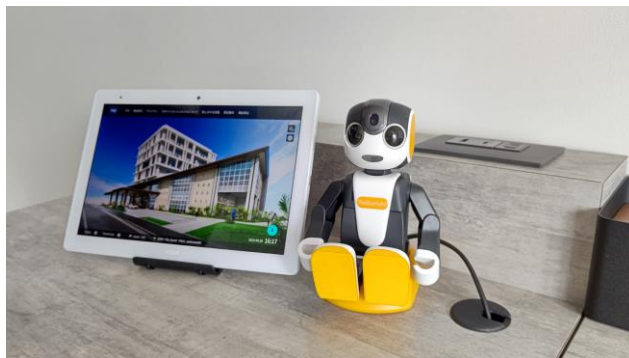


「ロボホン」がホテルの業務基幹システムと連携し、予約情報に応じた接客や提案を行う

「ロボホン」を活用した宿泊施設向け接客ソリューションの実証実験を「タップホスピタリティラボ沖縄」で開始



左：「タップホスピタリティラボ沖縄」フロントに設置されたロボホン、右：同客室内のデスクに設置されたロボホン

シャープは、宿泊施設向けシステムの開発を手がける株式会社タップ（本社：東京都江東区、代表取締役会長兼社長：林 悦男、以下、タップ）と連携し、該社が本日開設する「タップホスピタリティラボ沖縄」（沖縄県うるま市、以下、THL）において実施される実証実験に参画。当社のコミュニケーションロボット「ロボホン」とタップのホテル業務基幹システムPMS（Property Management System）*を連携させた接客による、業務効率化やゲスト満足度向上への有効性を検証します。

THLは、次世代の宿泊施設への活用が期待されるさまざまな先端テクノロジーの検証を行う総合実証実験施設です。実際に宿泊できる38の客室に、コワーキングシステムやセミナールーム、レストランなどが併設されています。当社を含む複数の企業が参画し、宿泊施設のDXや生産性の向上を目的に、ロボットや最新のIT技術を活用したさまざまなソリューションの実証実験が行われます。

当社が参画する実証実験では、タップが開発したPMSと、フロントおよび客室に設置した「ロボホン」が連携します。スマートフォンの予約画面から発行されるQRコードを、ゲストがフロントのカードキー発行機にかざしてチェックインすると、「ロボホン」がPMSからゲストの予約情報を取得。部屋番号や施設の利用方法などを音声で案内します。ゲストが客室に入ると、ウェルカムメッセージや部屋の設備の説明などを発話するほか、滞在中もゲストの予約情報に基づき、食事の予約がされていない場合には翌日の朝食プランを勧めたり、チェックアウト時間が近づくと声をかけたりします。

当社は、本実証実験で得られる知見を活かし、宿泊施設の人手不足などの課題解決やゲストとのコミュニケーション強化に資するソリューションの提案を強化してまいります。

■ 実証実験の概要

実証実験場所	ロボホン設置台数	開始日
タップホスピタリティラボ沖縄 (沖縄県うるま市)	フロント：1台 客室：4台（4室に1台ずつ設置）	2023年6月30日

※ 予約情報や客室の空き状況、請求内容などを管理する宿泊施設の基幹システム。

- 「ロボホン」「Robohon」はシャープ株式会社の登録商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

【 ホームページ 】 <https://corporate.jp.sharp/>（画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>）

【 本 社 】 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

【 お客様お問い合わせ先 】 お客様ご相談窓口 biz-robohon@sharp.co.jp